

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 社会福祉法人なごや福祉施設協会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホーム なごやかハウス名楽)  
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Every ソフトフィット	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	4台 /	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>夜勤帯における排泄介助や体位変換等において腰部にかかる負担を低減することで、腰痛を引き起こすリスクを減らす。</p> <p>導入決定後→業者と契約→令和2年12月1日納品(予定)→使用研修実施→使用状況検証→導入効果報告</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者の尊厳、プライバシーなどを十分に考慮し、機器利用前に利用者・家族への説明を十分にし、了承を得た上で、ロボットを使用します。</p>			
<p>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>○職員が単身で多数のご利用者のケアを行う夜勤帯でのベッド上の排泄介助や体位変換等「中腰」で行うケアは腰部への負担が大きく、腰痛へと繋がるリスクが大きいためロボットの導入により職員の腰部に係る負担を軽減して腰痛の予防を図る。</p> <p>○入浴介助時は、移乗、立位保持、洗身・洗髪等複雑なケアをマンツーマンで行う必要があるが、期しない動きをされるご利用者も多いため、ロボットの導入により確実に対応できるようにして介護事故の防止を図るとともに、従来2人で対応していたケースでは1人対応にして業務の省力化を図る。</p> <p>○上記業務改善を通して、職員にとって心身の負担の少ない働きやすい職場環境の醸成を図る。</p> <p>※当施設は、ご利用者・職員双方にやさしいノーリフティングケアの導入を進めているが、それだけでは解決できない上記の問題についてロボットの導入で改善を図るものである。</p>			
<p>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</p> <p>○ノーリフティングケアの導入と合わせて、ロボットを導入することで、職員・ご利用者双方の心身を守るやさしいケアが展開できる。</p> <p>○職員の腰部への負担が大きく軽減され、腰痛予防が図られることで、年齢を重ねても介護業務に従事することが可能となり、職員の安定雇用が図られる。</p> <p>○ロボットのパワーアシストを借りることで、従来なら事故(職員の腰痛、ご利用者の転倒・転落)に至ったケースを未然に防ぐことが可能となる。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 社会福祉法人なごや福祉施設協会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホームなごやかハウス名西 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Every ソフトフィット	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	2台	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>移乗・排泄・入浴など日常の介助において腰部にかかる負担を低減することで、腰痛を引き起こすリスクを減らす。          導入決定後→業者と契約→令和2年12月1日納品(予定)→使用研修実施→使用状況検証→導入効果報告</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者の尊厳、プライバシーなどを十分に考慮し、機器利用前に利用者・家族への説明を十分にし、了承を得た上でロボットを使用します。</p>			
<p>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>○介護職員が単身で多数のご利用者のケアを行う夜勤帯でのベッド上での排泄介助や体位変換等「中腰」で行うケアは腰部への負担が大きく、腰痛へと繋がるリスクが大きいことからロボットの導入により職員の腰部に係る負担を軽減して腰痛の予防を図る。</p> <p>○入浴介助時は、移乗、立位保持、洗身・洗髪等複雑なケアをマンツーマンで行う必要がある、予期しない動きをされるご利用者も多い為、ロボットの導入により確実に対応できるようにして介護事故の防止を図るとともに、従来2人で対応していたケースでは1人対応にして業務の省力化を図る。</p> <p>○上記業務改善を通して、職員にとって心身の負担の少ない働きやすい職場環境の醸成を図る。          ※当施設は、ご利用者・職員双方にやさしいノーリフティングケアの導入を進めているが、それだけでは解決できない上記の問題についてロボットの導入で改善を図るものである。</p>			
<p>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</p> <p>○ノーリフティングケアの導入と合わせて、ロボットを導入することで、職員・ご利用者双方の心身を守るやさしいケアが展開できる。</p> <p>○職員の腰部への負担が大きく軽減され、腰痛予防が図られることで、年齢を重ねても介護業務に従事することが可能となり、職員の安定雇用が図られる。</p> <p>○ロボットのパワーアシストを借りることで、従来なら事故(職員の腰痛、ご利用者の転倒・転落)に至ったケースを未然に防ぐことが可能となる。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 山田指定居宅介護支援有限会社 )  
 事業所名 ( 山田指定訪問介護事業所 )  
 サービス種別 ( 指定訪問介護 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Every	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月1日	1台 /	令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該機器の導入により、職員の腰部負担軽減及び腰痛予防を図り、空気圧式の人工筋肉の補助により作業効率の向上を可能とする。</li> <li>○導入スケジュール</li> <li>・デモ機使用→導入決定→業者との購入契約→令和2年11月機器導入予定→使用状況検証→導入効果報告</li> </ul>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の使用目的、安全性、効果等についてご利用者及び家族に説明、同意を得た上で実施する。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の腰痛予防。</li> <li>・職員の移乗介助における身体的、精神的負担の軽減。</li> <li>・ケアの質の向上に繋げる。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の腰部への負担が大きく軽減され、腰痛予防が図られることで、腰痛による離職及び休職を防ぎ、また年齢を重ねても介護業務に従事することが可能となり、職員の安定雇用へ繋がる効果が期待できる。</li> <li>・職員、ご利用者双方が安心できる介護の実践。</li> </ul>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 社会福祉法人愛燦会 )

事業所名 ( 長寿の里・十四山 )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		Hug L1-01(S)	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月1日	2	令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>2019年度に三菱総合研究所より実施された「ロボット介護機器開発・標準化事業現場実証支援業務」に参加し「Hug T1」で実証試験を行った。実証において入居者の生活動作に合わせた24時間どの場面でも使用出来ており、その後も継続している。今回小型軽量化と操作方法の改良がなされたモデルにより、対象となる入居者が増えることと、介護職員の負担軽減を図るため導入する。</p> <p>デモ機使用(同時に研修実施)⇒導入決定⇒業者と契約⇒令和2年11月機器納入⇒使用状況検証⇒導入効果報告</p>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の尊厳、プライバシーを十分考慮する。</li> <li>・入居者及び家族へ、説明と同意を得た上で使用する。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員の移乗介助時の腰痛の軽減及び腰痛による離職の防止。</li> <li>・介護負担の軽減により安心して長く働ける職場環境を作る。</li> <li>・入居者の移乗時における身体面及び精神面の負担軽減。</li> <li>・機器を使いこなし、複数職員での移乗介助を減らすことで、移乗介助以外のケアの充実を図る。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人介助で行っている入居者に対して、機器を活用する事で一人で行う事ができ、職員が介助する際の負担軽減や、様々な介助時における時間短縮ができ、ユニット内での見守り強化となる。</li> <li>・移乗介助による職員の負担軽減や腰痛予防になる。移乗介助時の安全性が向上する。</li> <li>・入居者へ安心安全に移乗ができ、身体的及び精神的に負担軽減となる。</li> </ul>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( トヨタ自動車健康保険組合 )  
 事業所名 (トヨタ自動車健康保険組合老人保健施設ジョイステイ)  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		FUJI 移乗サポートロボット Hug T1-02	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月16日	2台	令和2年11月16日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>〔概要〕 介護老人保健施設のご利用者様に対するトイレ介助時の移乗において生じるご利用者様と介護職員双方の負担軽減を図る。</p> <p>〔日程〕 導入決定後 → 業者発注 → 令和2年11月納入 → 導入教育実施 → 介護ロボットを使用した介助実施 → 導入結果を評価</p>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <p>ご利用者様の尊厳やプライバシーを十分に考慮する。                  ご利用者様及びご家族様へ介護ロボットの使用について説明・了承を得たうえで使用する。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <p>①オムツを使用しているご利用者様が1日1回トイレで排泄ができるようにする。                  ②トイレで排泄できる取り組みを行うことによりご利用者様の基本的欲求・自尊心を満たす。                  ③2名でトイレ介助している利用者様を1名で介助できるようにする。                  ④ご利用者様・介護職員の身体的・精神的負担を軽減する。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <p>①ご利用者様が1日1回トイレで排泄が出来る。                  ②ご利用者様が、トイレで排泄できる事で基本的欲求・自尊心を満たすことができる。                  ③介護職員が負担なく、1名で対応できる。(工数削減)                  ④ご利用者様がトイレにスムーズに行けるようになり、トイレ介助における身体的・精神的負担を軽減できる。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 社会福祉法人福寿園 )

事業所名 ( 特別養護老人ホーム武豊福寿園 )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		離床アシストロボット リショーン Plus	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月15日	1	令和2年11月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

### 【事業概要及び導入スケジュール】

現在、職員2名で行っている移乗介助、特に寝たきりで、身体の高い方の介助は職員の負担が大きい。それに伴い、利用者からも遠慮の発言があり、職員・利用者の身体的、精神的負担が大きい。機器導入により、双方の負担を軽減するとともに、安心して安全な移乗を行うことで、離床を促し、利用者の生活の質を向上させたい。

令和2年9月 機器設置事前調査

11月 機器導入、使用方法の説明会実施

### 【倫理面への配慮】

機器使用前に利用者、家族に説明し、了承を得る。施設サービス計画書で実施内容を記載し、利用者、家族、職員間で情報の共有を図る。

機器が安全に使用できるように、操作方法の研修を受ける。

### 【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- 移乗介助時に身体的・心理的負担を感じる介護職員の割合を導入前より低減させる。
- 2人で行っていた移乗介助を1人で行えるようにする。
- 定期的(6か月毎)に職員への効果をヒアリングし、3年後も継続して使用する。

### 【介護ロボットの導入により期待される効果等】

- 職員の身体的・精神的負担の軽減。
- 利用者の精神的負担やケガ等のリスク回避。
- 1人介助により削減できた時間を、他の利用者の対応に活かす。
- 最新機器の導入による職員の満足度向上。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社ライフスタイル・テン)  
 事業所名 (ヘルパーステーションあんのん)  
 サービス種別 (訪問介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		Hug - t1 - 02	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月1日	1台 /	令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p><b>事業概要</b>                  “ヘルパーステーションあんのん”の利用者の生活動作に関わる移乗の際に生じる利用者と介護職員双方の負担軽減を図るため。</p> <p><b>導入スケジュール</b>                  申請⇒補助金交付決定後⇒業者に報告し、速やかに導入する。(令和2年度 11月導入予定)</p>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <p>ご利用者様及びご家族様に対し使用目的の説明を行い、ご理解を頂いた上で適切に使用する。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 職員の身体的負担の軽減(移乗の際、腰部への負担が大きく、腰痛症に繋がるリスクが高いため、ロボットを導入することで腰痛症の予防を図る)。</li> <li>✓ 利用者様の身体的・精神的負担の軽減を図る</li> <li>✓ 職員の作業の効率化を図る(2人介助から1人介助へ)</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 二人介助で行っている一部のご利用者のトイレ誘導・移乗が職員一人で行うことが出来る。</li> <li>✓ 小柄な方や、女性の介護職員の介護負担の軽減につながる。</li> <li>✓ 移乗が効率的に行えることで、時間の短縮が出来、他の作業の効率化につながる</li> </ul>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (ブラザー健康保険組合 )  
 事業所名 (老人保健施設瑞穂 )  
 サービス種別 (介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助、排泄介助		マッスルスーツ Every	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月1日	8 /	令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

### 【事業概要及び導入スケジュール】

入所者の生活動作に伴う移乗、排せつの介助の際に生じる入所者および介護職員双方への負担の軽減を目的として導入する。

#### 導入スケジュール

- 導入決定 → 業者への発注 → 機器納入 → 使用研修実施 → 使用状況の検証  
 → 導入効果報告 (以降年度毎に使用状況報告)

### 【倫理面への配慮】

マッスルスーツ使用前に、入所者およびご家族へ、使用目的、安全性、効果などについてご説明し、ご理解を得た上で使用する。

### 【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・ 職員の腰痛予防および軽減
- ・ 職員の移乗介助、中腰姿勢での作業に伴う身体的・精神的負担の軽減
- ・ ケアの質向上 (作業の効率化)

### 【介護ロボットの導入により期待される効果等】

- ・ これまで移乗困難なご利用者の移乗介助は特定の職員や2人介助で実施していたが、パワースーツの導入により、多くの職員が移乗介助することができる。  
また作業にあたる職員を減らすことができる。
- ・ 職員およびご利用者双方が安心してケアに臨めることができる。
- ・ ロボットの活用により職員のケアに対する負担軽減を図ることができ、怪我や病気の発生を防止し職員の離職率の低減や採用への効果が期待できる。

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。



## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 仁至会 )  
 事業所名 (介護老人保健施設ルミナス大府)  
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗サポートロボット	Hug T1-02		
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	1 <	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

**【事業概要及び導入スケジュール】**

立位保持困難なご利用者のトイレ移乗、衣類の交換等の際に生じる負担軽減及び介護職員の腰痛予防を図る。  
 従来のロボットと比較して小型化と操作性が向上したことから対象となるご利用者が増え、汎用性が高いと考えられた。  
 デモ機使用→業者決定・発注→機器導入(12月頃)→使用者選定→使用状況検証→導入効果報告。

**【倫理面への配慮】**

利用者の尊厳、プライバシーに十分配慮する。  
 ご利用者、ご家族への使用についての説明、了承を得たうえで使用する。

**【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)**

2人介助を行っていた立位困難なご利用者のトイレ介助、衣類交換等を身体的負担を極力軽減させることで職員1人で行うことができる。  
 移乗の際の身体的負担の軽減により腰痛予防を図る。

**【介護ロボットの導入により期待される効果等】**

重度のご利用者の介助を1人で行えることで、他のご利用者への必要な見守りのための人員確保ができ、事故防止につながる。  
 腰部への負担を軽減し腰痛予防が図れることから年齢を重ねた職員でも介護業務に従事することが可能となり職員の人材確保につながる。

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人すいと福社会)

事業所名 (特別養護老人ホームふぁみりい恕苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		パワーアシストスーツ「マッスルスーツ Every」 株式会社イノフィス	
導入時期 【予定】	導入台 (セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	1台	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p><b>事業概要</b> 当該機器の導入により、介護職員の業務負担を軽減するとともに、腰痛予防に役立てる。</p> <p><b>導入スケジュール</b> 交付決定後に速やかに導入する。介護職員を対象に機器使用の説明会を開催する。導入後は生活支援委員会において、得られた効果や使用状況について定期的に検証する。</p> <p><b>【倫理面への配慮】</b> 入居者や家族に対して機器使用による効果を説明し、その同意を得たうえで使用を開始する。</p> <p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移乗介助時における介護職員の身体的負担を軽減する。</li> <li>・入居者を持ち上げる際に発生しやすい腰痛の予防を図る。</li> </ul> <p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負担の少ない介護を推進することにより、高齢者の安定雇用につながる。</li> <li>・職員と入居者の双方が安心できる介助を安全な方法で提供できる。</li> <li>・移乗介助時の入居者の負担や事故などの危険性を軽減できる。</li> </ul>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人薫徳会 )  
 事業所名 (デイサービスセンターエイジトピア諸輪)  
 サービス種別 (地域密着型通所介護 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援(装着型)		イノフィスマッスルスーツEVERY	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年10月31日	2台	令和2年10月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職員の移乗などに係る身体的負荷の低減のため、移乗支援用マッスルスーツを導入する。</li> <li>・ 導入時期：令和2年10月31日</li> </ul>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 装着をしての移乗に拒否を示されたご利用者に対しては装着使用を控える。</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職員の移乗などに係る身体的負荷の低減</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職員の身体的負担軽減効果</li> <li>・ 介護時間の短縮</li> <li>・ 移乗による事故の低減</li> </ul>			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人華陽会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホームサービスネットワーク南陽)  
 サービス種別 (介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助機器 (非装置型)		離床アシストベッド リショーネ PLUS	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	2 台	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

### 【事業概要及び導入スケジュール】

特別養護老人ホームの利用者へ離床介助を行う際に生じるベッドから車椅子への車椅子からベッドへの移乗時の利用者、職員双方の負担軽減を図り、利用者がより安全で快適に離床できることや職員の腰痛を誘発する要因を軽減する。

令和2年8月 機器導入事前調査

令和2年9月 業者による機器導入説明会・デモンストレーション

令和2年12月 機器導入 使用方法説明会

導入後1ヶ月 使用状況確認

3ヶ月を目安に導入効果検証

### 【倫理面への配慮】

機器使用前に利用者の不安・プライバシーに十分配慮し、利用者・家族への説明を行い、理解を得た上で使用する。また、安全に使用できるように、操作方法や活用方法を職員で共有しリスク管理を行う。

### 【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・移乗介助の身体的・精神的な負担を軽減し、腰痛に伴う業務内容の限定、休職・離職を導入前より低減させる。
- ・移乗ふたり介助をひとり介助とすることが可能になり、職員のマンパワー不足を軽減する。
- ・移乗用吊り下げリフトが身体的理由により使用できない方への対応ができ、利用者のQOLを拡大する。

### 【介護ロボットの導入により期待される効果等】

- ・利用者の移乗介助時に生じる身体的・精神的負担軽減、活動性の向上。
- ・利用者の移乗介助時に生じる負担や外傷 (内出血・表皮剥離) 等のリスク軽減。
- ・職員の移乗介助時に生じる身体的・精神的負担軽減及び腰痛予防。
- ・移乗ふたり介助をひとり介助とすることが可能になり、職員のマンパワー不足の解消。
- ・ノーリフトケアの推進によるリクルート効果。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人華陽会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホームサービスネットワーク南陽)  
 サービス種別 (介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		H u g T 1 - 0 2	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	2 (	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【事業概要及び導入スケジュール】

特別養護老人ホームの利用者のトイレ介助、車椅子への移乗の際に使用することにより、利用者の残存機能を活かし、無理なく安全に移乗できることで利用者、職員の双方の負担軽減を図る。利用者のADLの向上・OQLの向上及び職員の腰痛予防、業務の効率化を図り、環境改善につなげていく。

令和2年8月 機器導入事前調査

令和2年9月 業者による機器導入説明会・デモンストレーション

令和2年12月 機器導入 使用方法説明会

導入後1ヶ月 使用状況確認

3ヶ月を目安に導入効果検証

## 【倫理面への配慮】

機器使用前に利用者の不安・プライバシーに十分配慮し、利用者・家族への説明を行い、理解を得た上で使用する。また、安全に使用できるように、操作方法や活用方法を職員で共有しリスク管理を行う。

## 【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・利用者の個々の状態をアセスメントし使用が可能な方のピックアップを行い、利用者のADLが向上する。
- ・利用者の体を持ち上げる介護ロボットを導入することで移乗介助の身体的・精神的な負担を軽減し、腰痛に伴う業務内容の限定、休職・離職を導入前より低減させる。
- ・移乗ふたり介助をひとり介助とすることが可能になり、職員のマンパワー不足を軽減する。

## 【介護ロボットの導入により期待される効果等】

- ・職員の移乗介助時に生じる身体的・精神的負担軽減及び腰痛予防。
- ・職員によってことなる移乗動作や不安定な状態を排除することで、職員指導の統一化を図り、利用者、職員の双方の安心感を得る。
- ・移乗ふたり介助をひとり介助とすることが可能になり、職員のマンパワー不足の解消。
- ・ノーリフトケアの推進によるリクルート効果。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人華陽会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホーム華の郷南陽)  
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助機器 (非装置型)		離床アシストベッド リショナー PLUS	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	1	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>特別養護老人ホームの利用者へ離床介助を行う際に生じるベッドから車椅子への車椅子からベッドへの移乗時の利用者、職員双方の負担軽減を図り、利用者がより安全で快適に離床できることや職員の腰痛を誘発する要因を軽減する。</p> <p>令和2年8月 機器導入事前調査                      令和2年9月 業者による機器導入説明会・デモンストレーション                      令和2年12月 機器導入 使用方法説明会                      導入後1ヶ月 使用状況確認                      3ヶ月を目安に導入効果検証</p>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <p>機器使用前に利用者の不安・プライバシーに十分配慮し、利用者・家族への説明を行い、理解を得た上で使用する。また、安全に使用できるように、操作方法や活用方法を職員で共有しリスク管理を行う。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移乗介助の身体的・精神的な負担を軽減し、腰痛に伴う業務内容の限定、休職・離職を導入前より低減させる。</li> <li>・移乗ふたり介助をひとり介助とすることが可能になり、職員のマンパワー不足を軽減する。</li> <li>・移乗用吊り下げリフトが身体的理由により使用できない方への対応ができ、利用者のQOLを拡大する。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の移乗介助時に生じる身体的・精神的負担軽減、活動性の向上。</li> <li>・利用者の移乗介助時に生じる負担や外傷(内出血・表皮剥離)等のリスク軽減。</li> <li>・職員の移乗介助時に生じる身体的・精神的負担軽減及び腰痛予防。</li> <li>・移乗ふたり介助をひとり介助とすることが可能になり、職員のマンパワー不足の解消。</li> <li>・ノーリフトケアの推進によるリクルート効果。</li> </ul>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 医療法人 豊成会 )  
 事業所名 ( 老人保健施設ウェルビー )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗用サポートロボット		Hug T1-02	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月15日	1台	令和2年12月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【事業概要及び導入スケジュール】

- ・入所者の日常生活における移乗動作、および、移乗介助時の腰痛予防などスタッフの負担軽減を目指す
- ・令和2年12月の機器導入を目標に業者との契約を進める
- ・導入後は使用状況を検証し、導入効果を報告する

## 【倫理面への配慮】

- ・入所者の尊厳やプライバシーを十分に考慮する
- ・使用前に入所者および家族等への説明および周知を図る
- ・当該機器を使用することで考えられる事故を事前に想定したリスクマネジメントを実施する
- ・職員に対して当該機器の導入目的や使用方法などの周知を継続的に実施する研修体制を構築する

## 【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

1. 入所者と職員の負荷が最小限で楽に移乗ができる介護ロボットとして標準化を図る
2. 入所者の精神面を含めたQOLの維持向上を目指す
3. 職員の移乗介助時における身体的負担の軽減により離職防止や高齢職員の安定雇用を図る

## 【介護ロボットの導入により期待される効果等】

1. 移乗介助が介助者の技能に影響されにくい
2. 身体機能が低下する過程でもADLを維持することが期待できる
3. 構造が簡単であるため職員の周知が安易
4. 小型であるため保管場所確保をはじめとした運用が安易
5. トイレに行きたい入所者を安全に長い期間トイレ誘導することができる
6. 入所者の立位における肛門チェック時の負担が非常に少ない
7. 職員の腰痛予防を図ることができる

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。





## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 愛生館 )  
 事業所名 (特別養護老人ホーム ひまわり・安城)  
 サービス種別 (介護老人保健施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援 (非装着型)		Hug T1-02	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年12月1日	1 /	令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>入居者のトイレ介助中の移乗、ベッドから車いすへの移乗から発生する介護従業員と入居者双方の負担軽減を図る。</p> <p>導入決定⇒業者決定⇒発注⇒機器導入 (9月予定) ⇒使用者選定⇒従業員教育⇒使用研修会の実施⇒使用状況、安全確認等検証⇒導入効果報告</p>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <p>入居者の尊厳、プライバシーを充分考慮する。</p> <p>入居者及びご家族、関係者の説明と同意を得て対応する。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <p>従業員の負担軽減について、定期的にアンケートを実施する。</p> <p>導入前後については、客観的に評価できるような数値で効果測定するような確認方法をとる。</p> <p>入居者の身体機能の状態と安全面を考慮し、介助スタッフを2名から1名へ減員する。</p> <p>入居者の安全面や安心感等の精神的負担の軽減を図る。</p> <p>ノーリフトの介護手法を定着させる。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <p>ベッドから車いす、車いすからベッド等への移乗の際、2名で行っていたところを1名で行うことで効率化がはかれる。</p> <p>応援スタッフを呼ぶ時間が減り、時間の有効活用を可能とする。</p> <p>ノーリフトを推進し、介護手法を変更することで、腰痛予防を推進できる。</p> <p>介護従業員により異なる移乗動作や、不安定な状態を均一化することで、入居者の安心感を促進できる。</p>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 株式会社 Eternal Flame )

事業所名 ( ヘルパーステーションアリス )

サービス種別 ( 訪問介護 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		Hug L1-01 (S)	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月1日	1	令和2年10月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>ご入居者様のトイレやベッドと車いす間等の生活動作に関わる移乗介護において介護ロボットを導入することにより、ご入居者様と介護職員双方の身体的負担の軽減を図る。</p> <p>(導入スケジュール)</p> <p>補助金交付申請→交付決定→購入(発注)→納品(受注後順次)→使用前研修→使用(導入)</p>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <p>ご入居者様の尊厳やプライバシーに十分配慮し、機器を使用する目的、機器の使用方法等の説明を事前に行った上で、ご入居者様及びご家族の同意・了承を得る。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移乗の際に腰部への負担が大きく、介護ロボットを導入することにより介護職員の移乗介助時の腰への負担軽減及び腰痛予防を図る。</li> <li>・ ご入居者様の移乗時における身体面・精神面の負担軽減を図る。</li> <li>・ 機器を使いこなし、移乗介助の職員を減らすことで、移乗介助以外のケアの充実を図る。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状、2人介助にて行っている移乗介護が機器を利用することで1人での介助が可能となるため、個々のご入居者のタイミングに合わせてケアができるようになり、ご入居者の身体的・精神的負担の軽減につながる。</li> <li>・ 介護ロボットを利用することで職員の腰部への負担が大きく軽減され、腰痛予防が図られることで、職員の離職防止に期待できる。</li> </ul>			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 愛知育児院 )  
 事業所名 (特別養護老人ホーム南山の郷)  
 サービス種別 (介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		ハグ L1-01	
導入時期 【予定】	導入台(セット) 数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月30日	1台	令和2年11月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>立位保持が困難なご利用者のトイレ介助等の場面において、ご利用者の安全と介護職員の負担軽減を図る。          令和2年7月デモ実施し職員へ周知済み。9月申請後に業者との契約し11月機器納入。</p>			
<p><b>【倫理面への配慮】</b></p> <p>利用者の尊厳、プライバシーを十分に考慮する。          ご利用者が身体的・精神的に苦痛がないよう使用について説明した上で対応する。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の身体的負担の軽減 (腰痛予防)</li> <li>・ 利用者の移乗時における身体的・精神的負担の軽減</li> <li>・ 安全な介護と自立支援の推進</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の腰痛による休職や離職の防止</li> <li>・ ご利用者の移乗時における身体的・精神的負担軽減による利用者の満足度の向上</li> <li>・ 事故リスクの軽減により、ご利用者の健康維持と職員の介護負担の増加防止</li> <li>・ 福祉用具の積極的な導入で職場環境を向上することは人材確保にも繋がる。</li> </ul>			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 医療法人御幸会 )  
 事業所名 ( デイサービスセンターローズ )  
 サービス種別 ( 通所介護 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		イノフィス製マッスルスーツ EVERY	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月1日	2台 /	令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<b>【事業概要及び導入スケジュール】</b> 当機器の導入にて、職員の腰の負担を軽減し腰痛予防を図り、空気圧式の人工筋肉の補助により作業効率の向上を図る。  導入スケジュール 導入決定⇒業者との契約⇒令和2年11月機器納入⇒使用研修実施⇒使用状況検証⇒導入効果報告 (以降年度毎に使用状況報告)			
<b>【倫理面への配慮】</b> 機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し了承を得る。			
<b>【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の腰痛予防の軽減。</li> <li>・ 職員の移乗介助における身体的・精神的負担の軽減。</li> <li>・ ケアの質向上</li> </ul>			
<b>【介護ロボットの導入により期待される効果等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで移乗困難な利用者の移乗介助は特定の職員が行っていたが、マッスルスーツの導入により多くの職員が移乗介助できるようになり、特定の職員の身体的・精神的負担の軽減を図ることができる。</li> <li>・ 職員・利用者双方が安心できるケアができる。</li> <li>・ 介護ロボットの活用により職員の負担軽減や他施設との差別化を図ることができ、離職率の低減及び採用への効果が期待できる。</li> </ul>			

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( 医療法人御幸会 )  
 事業所名 ( 野村胃腸科 )  
 サービス種別 ( 通所リハビリテーション )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		イノフィス製マッスルスーツ EVERY	
導入時期 【予定】	導入台(セット)数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年11月1日	2台	令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

**【事業概要及び導入スケジュール】**

当機器の導入にて、職員の腰の負担を軽減し腰痛予防を図り、空気圧式の人工筋肉の補助により作業効率の向上を図る。

**導入スケジュール**

導入決定⇒業者との契約⇒令和2年11月機器納入⇒使用研修実施⇒使用状況検証⇒導入効果報告 (以降年度毎に使用状況報告)

**【倫理面への配慮】**

機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し了承を得る。

**【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)**

- ・職員の腰痛予防の軽減。
- ・職員の移乗介助における身体的・精神的負担の軽減。
- ・ケアの質向上

**【介護ロボットの導入により期待される効果等】**

- ・これまで移乗困難な利用者の移乗介助は特定の職員が行っていたが、マッスルスーツの導入により多くの職員が移乗介助できるようになり、特定の職員の身体的・精神的負担の軽減を図ることができる。
- ・職員・利用者双方が安心できるケアができる。
- ・介護ロボットの活用により職員の負担軽減や他施設との差別化を図ることができ、離職率の低減及び採用への効果が期待できる。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入計画書

法人名 ( ハートピース 株式会社 )

事業所名 ( ハートピース ケア )

サービス種別 ( 訪問介護 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		H u g T 1	
導入時期 【予定】	導入台(セット) 数	購入日 【予定】	リースの契約期間 【予定】
令和2年10月31日	1 台	令和2年10月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

**【事業概要及び導入スケジュール】**

(事業概要)

高齢者住宅に入居する要介護の利用者様が自立した生活を送るための援助を目的とした入浴、排泄、食事等の介護全般

(スケジュール)

デモ機使用 ⇒ 補助金交付申請 ⇒ 導入決定 ⇒ 業者契約 ⇒  
購入機納入 (令和2年10月末頃) ⇒ 職員向け使用研修 ⇒  
使用状況・安全状況等の検証 ⇒ 導入効果報告

**【倫理面への配慮】**

利用者様及び家族様に対して、介護ロボットの使用目的や安全性について十分な理解と同意を得た上で順次使用してゆく。

介護ロボットを使用する職員は、事業所内における十分な研修を行い、使用上の知識を習得することにより利用者様の安心・安全に努める。

**【介護ロボットの導入により達成すべき目標】 (3年間目処)**

介護ロボット導入により、安心・安全な職場環境を提供し、職員の定着につなげてゆく。  
利用者様に介護ロボット導入による無理のない介助を提供する事で、  
事故を防止し安全で自立した生活を送って頂く。

**【介護ロボットの導入により期待される効果等】**

- ・ ベッド、車いすからの移乗やトイレ介助時等の職員の介護負担を軽減。
- ・ 腰痛など職員の怪我や事故件数の削減
- ・ ベッド、車いすからの移乗やトイレ介助時等の利用者様の身体的負担を軽減。
- ・ 転倒事故等の利用者様の事故件数の削減

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。